

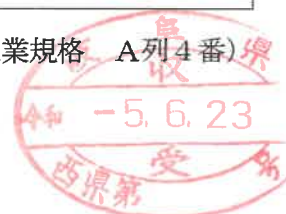
(正)

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

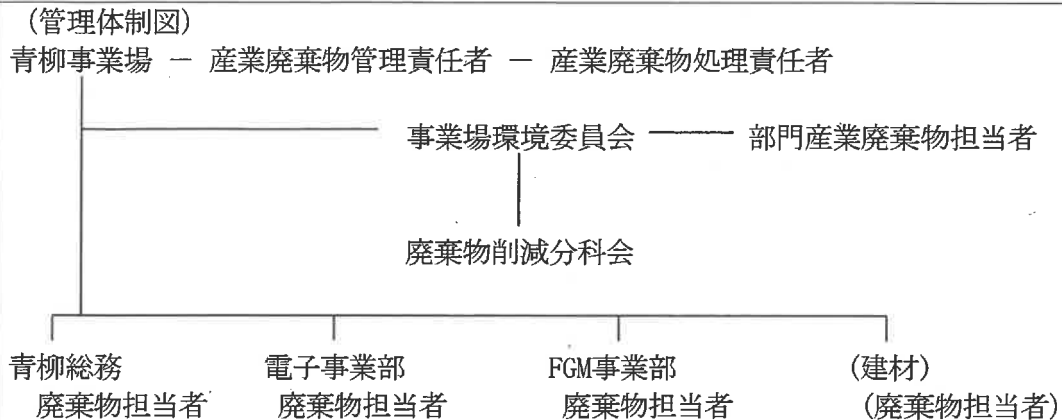
産業廃棄物処理計画書	
令和5年 6月23日	
岐阜県知事 殿	
提出者	
住 所 岐阜県大垣市青柳町300番地	
氏 名 イビデン株式会社 青柳事業場	
事業場長 八代 洋和	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0584(89)3312	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	イビデン株式会社 青柳事業場
事業場の所在地	岐阜県大垣市青柳町300番地
計画期間	令和5年 4月 1日 ~ 令和6年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	28：電子回路製造、21：窯業・土石類
②事業の規模	出荷額：208,200万円
③従業員数	718人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラ：再生処理業者に委託しRPF燃料として再資源化 メッキ工程 廃アルカリ：社内・再生処理業者に委託して無害化处理 廃酸：社内・再生処理業者に委託して無害化处理 水処理工程 汚泥：中間処理業者にて脱水後、焼却処分 特殊炭素製品製造 汚泥：中間処理業者にて破碎後、焼却処分

(日本工業規格 A列4番)



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	汚泥	廃プラスチック	廃油	がれき
	排出量	11,959 t	82,328 t	302 t	297 t	8.5 t	60.6 t
	(これまでに実施した取組) ・製品の歩留り改善、不良率の改善 ・廃プラスチック分別による有価物化の実施(廃棄量の削減) ・グループ会社協業での廃棄物分別強化活動実施 → 廃棄物の一部有価物化と産業廃棄物の削減 ※取組みを継続して実施						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	汚泥	廃プラスチック	廃油	がれき
	排出量	11,955 t	82,300 t	300 t	290 t	8.0 t	60t
	(今後実施する予定の取組) ・製品の歩留り維持、改善(不良を発生させない) ・工法等の効率化により原料使用量低減・排出量減少を目指す ・さらなる分別強化による有価処理対象品目の拡大を図る ※取組みを継続して実施						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・基板端材等金属類を構内各社で分別強化し、金属回収業者での有償処理量を増加させた。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・引き続き再生利用・有償処理実施の検討を行う。 ・社員教育を継続実施し、減量と分別への意識向上と維持を図る。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	汚泥	廃プラスチック	廃油	がれき
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・取組みの実施なし						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	汚泥	廃プラスチック	廃油	がれき
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	汚泥	廃プラスチック	廃油	がれき
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	5,944 t	52,580 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・ 中間処理設備の定期清掃及び整備による処理能力の維持 ※継続取組み						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	汚泥	廃プラスチック	廃油	がれき
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	6,000 t	52,600 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・ 自己中間処理技術・能力の向上と維持を図り、自社で減量化する産業廃棄物量の増大と維持を図る。（継続活動）						

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	汚泥	廃プラスチック	廃油	がれき
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・取組みの実施なし						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	汚泥	廃プラスチック	廃油	がれき
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・実施の予定なし						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	汚泥	廃プラスチック	廃油	がれき
	全処理委託量	6,015 t	29,748 t	302 t	297 t	8.5 t	60.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	405 t	0 t	225 t	62.5 t	0 t	10.4 t
	再生利用業者への処理委託量	44 t	278 t	76 t	69 t	0 t	0.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0.76 t	1.2 t	4.4 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.45 t	0 t	0.18 t	131 t	4.0 t	0 t
<p>（これまでに実施した取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生利用業者への処理委託を可能な限り行い、処理委託量の低減を図った。 ・処理委託業者の現地視察実施。 <p>※継続取組み</p>							

② 計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸	汚泥	廃プラスチック	廃油	がれき
	全処理委託量	5,955 t	29,700 t	300 t	290 t	8.0 t	60.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	400 t	0 t	220 t	62 t	0.0 t	10.0 t
	再生利用業者への処理委託量	50 t	280 t	80 t	70 t	0.0 t	0.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0.74 t	1.0 t	4.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.5 t	0 t	0.15 t	125 t	3.8 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組) ・歩留り改善、不良率の改善 ・優良認定処理業者への処理委託比率アップ ・認定熱回収業者への処理委託量アップ ・処理委託業者への定期的な確認の実施 (※継続的取り組み)						
※事務処理欄							

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。